

令和4年度 高次脳機能障がい支援拠点機関相談状況報告

社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンターは大分県から平成19年10月より高次脳機能障がい支援拠点機関の委託を受け活動を開始しています。

高次脳機能障がい支援拠点機関の委託内容としては、高次脳機能障がい者及びその家族に対する相談窓口を設置し相談支援を実施することとなっています。

相談内容は、高次脳機能障がいの診断、評価、社会保障の活用、介護、訓練などの施設等への支援方法やアドバイス、就労・就学について本人、企業、施設等への支援方法やアドバイスをを行っています。

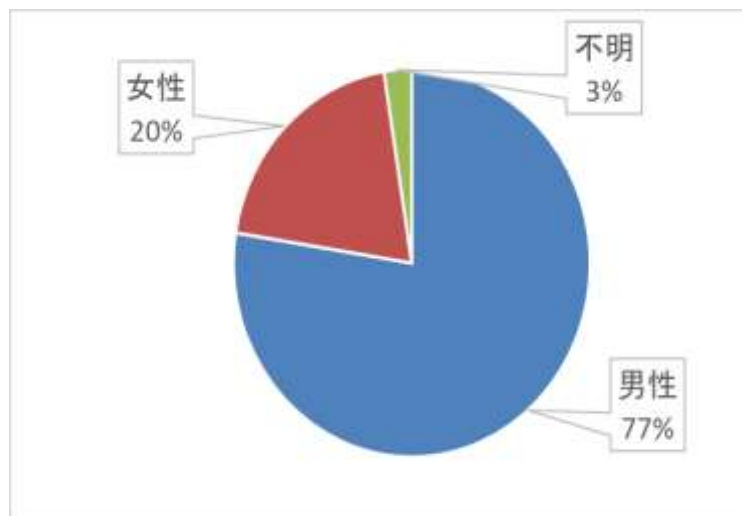
○令和4年度の相談件数

令和4年度、高次脳機能障がい支援コーディネーターが関わった相談者数は120名で、延べ件数は317件でした。

相談者数（120名）の内訳

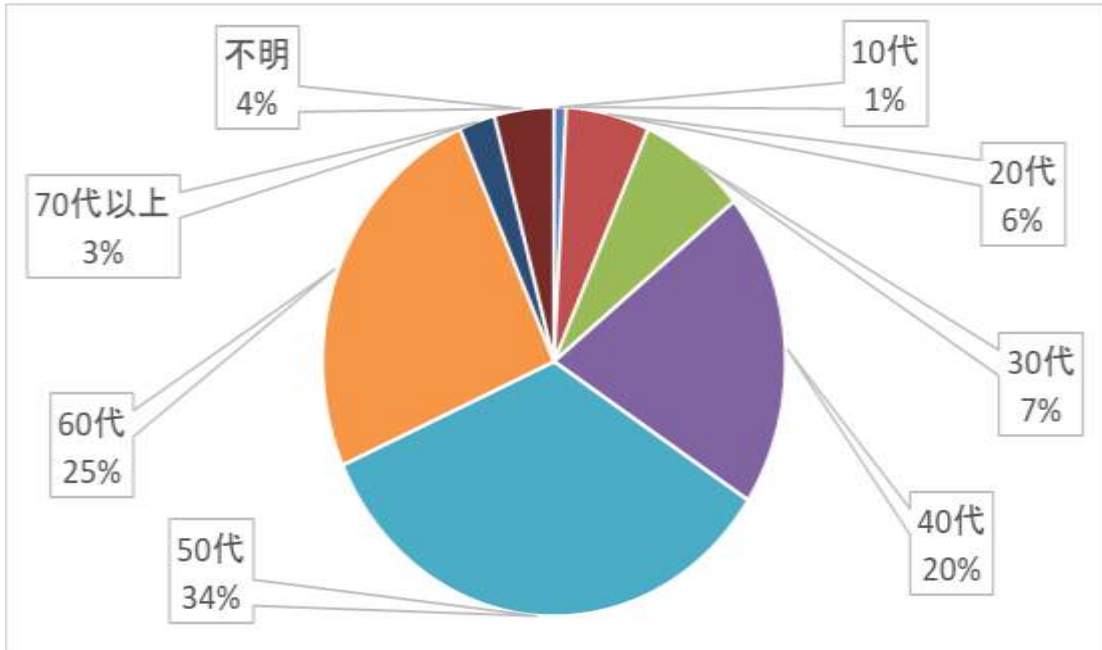
性別（単位：名）

男性	93
女性	24
不明	3



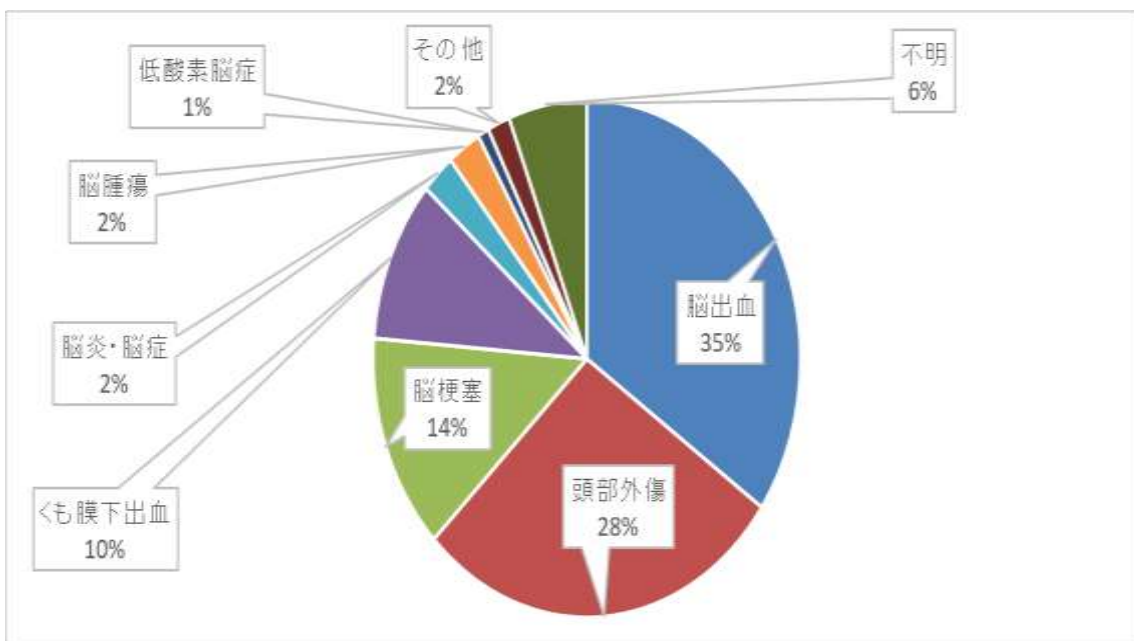
年齢（単位：名）

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
1	7	9	24	41	30	3	5



原因疾患（単位：名）

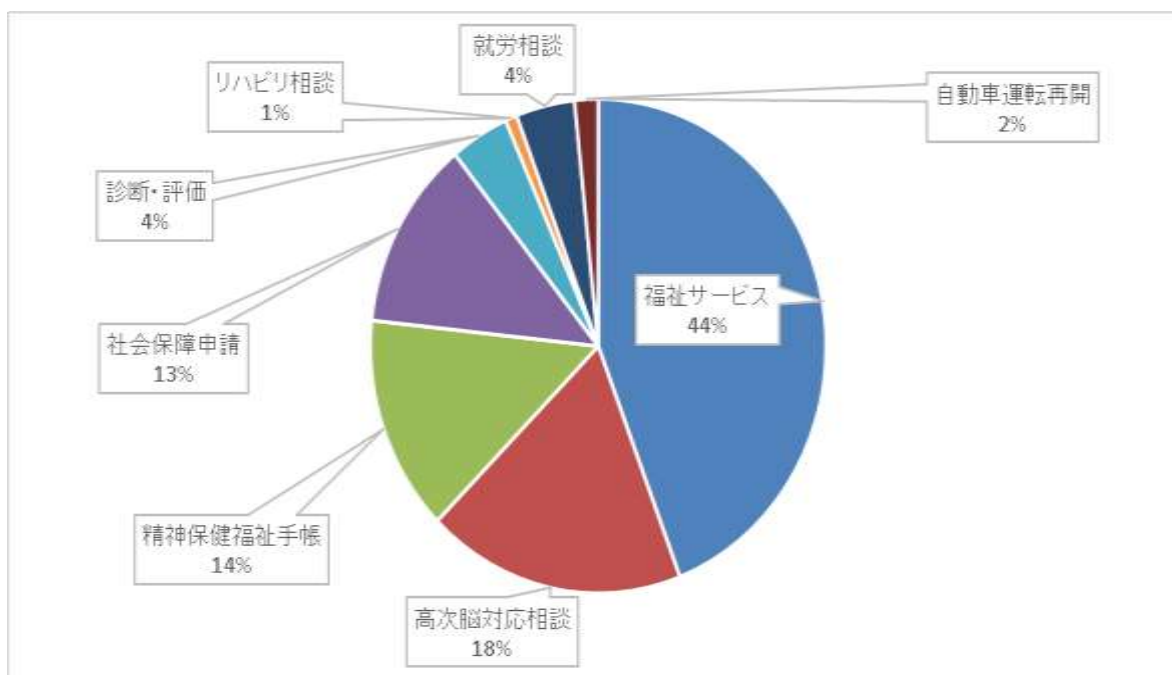
脳出血	頭部外傷	脳梗塞	くも膜下出血	脳炎・脳症	脳腫瘍	低酸素脳症	その他	不明
41	31	16	12	3	3	1	3	10



相談内容・支援内容（単位：件）

福祉サービス 利用相談	高次脳対応相談	精神保健福祉手帳 (申請・更新)	社会保障申請 (年金・後遺症)	診断・評価	リハビリ支援	就労相談	自動車運転再開
53	22	17	15	5	1	5	2

※リハビリ支援：高次脳機能障がいのリハビリテーション開始等に伴う支援



令和4年度も昨年同様男性の相談が多く、年代別では40代から60代の相談が多い結果となりました。（※この実績は平成19年度より大きな変化は見られていません）

高次脳機能障がいの原因疾患としては、脳出血・脳梗塞・くも膜下出血が全体の約60%を占め、続いて頭部外傷が28%でした。

相談者の主な相談内容は、社会保障（精神保健福祉手帳・障害年金の申請）の手続き支援（27%）、福祉サービスの利用支援（44%）、高次脳機能障がい者の対応や事業所等での支援方法の相談（18%）、高次脳機能障がいの診断・評価（4%）でした。